

石川すみえ にじいろ 通信

日本共産党板橋区議会議員 | 区政報告 | 2023年3月22日発行号 (No.87)

プロフィール

石川すみえ、区議会議員（1期目）。

専業主婦でしたが、親子ひろばがなくなったこと&保育園に落ちたことで、区政かえよ！と区議会議員になりました。住民の「リアル」な声、区政に届けています。



駅でのご挨拶

火曜日 大山駅南口

水曜日 小竹向原駅

木曜日 千川駅

金曜日 ときわ台駅南口

連絡先はこちら

事務所

板橋区小茂根2-27-11

03 (3974) 2405

板橋区役所内日本共産党議員団
控え室

03 (3579) 2717

chichikababu_@hotmail.com



(国際女性デーに区役所前にて)

いたばしの待機児童はどうなる？

石川は区議会議員となる前から「保育園落ちた」の取り組みをしています。3月の予算分科会でも、待機児童の問題を取り上げました。

前年度と比較すると、二次募集が終わった段階で入所が決まらなかった児童数は同程度とのこと。前年は、実質待機児はゼロになっており、今年もゼロになるよう利用調整を続けていく、と区は説明しています。

しかし、要支援児保育の入所希望が43名がおり、新規の入所希望児童で決まっていない児童がいます。前年は要支援児は一次募集の段階で全員入所が決定していました。

現在、保育園の定員や、面積など、さまざまな「基

なんでも相談会

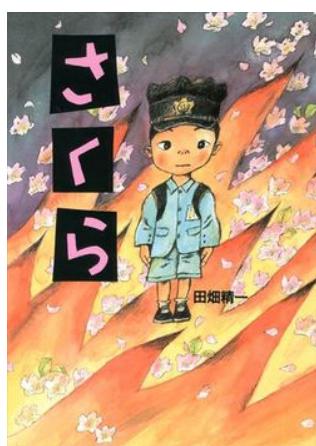
4月の相談会はお休みとなります。相談会以外でいつでもお話しを伺います。

場所は小茂根の事務所です(小茂根2-27-11、03 (3974) 2405)。

お困りごとがありましたら、いつでも対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

事務所においでいただいても、区役所の共産党区議団控室(03 (3579) 2717)でも大丈夫です。

ちゃまの絵本日記



『さくら』

田畑精一、童心社、2013年。

準」は健常児を前提につくられています。現状ですすでに要支援児保育をおこなっている園では、これ以上の受け入れができない、というところも多くあります。

区は、少子化で保育園の空きがうまれている状況を考え、新規開設を抑制しています。

わたしは、現状の制度だと要支援児がまず待機児になってしまうこと、それは差別的な状況だということ指摘し、区としての基準引き上げや新たな加配等を求めました。

シルバーパスの助成を

共産党板橋区議団は、令和5年度予算に対する修正動議を提案しました。「学校給食費の無償化」

「1ヶ月児健康診査及び産婦健康診査助成」「公園・公衆トイレの洋式化推進」、そして「シルバーパス利用者支援事業」の4事業です。

わたしたちの提案は、シルバーパスの利用者で20,510円の負担となっている住民税課税者に対し、年間5,000円の支援を行うというものです。

高齢者の移動手段について、国はさまざまな検討を始めましたが、区は本当に及び腰です。わたしは最初に区議会に登壇した時から、地域の交通手段の充実を求めてきました。

引き続き取り組んでいきます。

石川すみえの公式LINEを開設しました。にじいる通信を始め、区政のお役立ち情報も発信していきます。ご相談ごともこちらからどうぞ！

